

心聖会 広報誌

広 報 こ い け

発 行：社会福祉法人 心聖会
 広報委員会
 発行責任者：吉村 優児
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池393

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

経 営 理 念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



AIに代えられないもの

4月17日（金）小池更生園にて当法人の永年勤続表彰式が行われました。今年度は勤続10年を迎えた5名、およびに勤続5年の6名を含む計11名が表彰されました。式典では理事長より長年の貢献に対する感謝と労いの言葉とともに表彰状と金一封が授与されました。

昨今、様々な分野でのAI化が進み、介護の場面でも介護ロボットやICTの導入が注目されています。これらの技術の進歩は記録業務の効率化や身体的負担の軽減にメリットがありますが、どれだけ技術が進んでも、私たちが担う支援においては人と人との関わりなくして成立しません。機械には代えられない関わりを通して、当法人の経営理念である、「私たちは利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そしてこれらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます」を実現できるよう、今回の表彰者をはじめ、全職員が一丸となり、今後も精進してまいります。

永年勤続表彰 受賞者のことば

小池更生園 佐久間 悠

この度、永年勤続10年表彰という大変光栄な賞を頂き、心より感謝申し上げます。振り返ってみると、あつという間の10年だったような気がします。毎日新しい発見の連続で、とても自身の濃い10年だったと感じています。入職した頃は、期待と不安でいっぱいでした。ご利用者の皆様との関わり方に悩んだり自分の支援に自信が持てなかったりする事もありました。しかし、その度に先輩職員に助けられ、ご利用者の皆様の笑顔や「ありがとう」の言葉に励まされながら、一歩ずつ成長することができました。

生活支援員の仕事は、同じ1日が1つとしてありません。予想通りにいく事もあれば、「今日はそんな展開になるの?」と思わず笑ってしまいうような出来事もあります。毎日が小さなドラマの連続で、その分やりがいもたくさんあります。時にはご

利用者の皆様から教えられる事も多く、支援する立場のほうですが、気づけば私の方が元氣や勇氣をもらっていることもしばしばです。

10年経った今でも学ぶ事ばかりで、「まだまだ修行中だな」と感じています。ただ、ご利用者の皆様が笑顔で過ごされている姿を見ると、この仕事を続けてきて本当に良かったと思います。気が付けば10年ですが、今でも名前を呼んで頂くと嬉しくなりますし、何気ない会話に思わず笑顔になる事もあります。そんな日々の積み重ねが、この仕事の一番の魅力だと感じています。

今回の表彰は、私一人の力ではなく、ご利用者の皆様、ご家族の皆様、そして苦楽を共にしてきた職員の皆様のおかげで頂く事ができたものです。心より感謝申し上げます。次の10年もまずは体力と健康を維持しながら、初心と感謝の気持ちを忘れず、ご利用者の皆様に寄り添った支援を続けていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。



小池更生園 湯浅 まみ

このたびは、永年勤続10年表彰という大変光栄な賞をいただき誠にありがとうございます。

10年前、私は福祉の仕事についてほとんど知識がないまま入職いたしました。不安な気持ちもありましたが、日々の業務を重ねる中で少しずつ経験を積み、ここまで続けてくることができました。これもひとえに、職場の先輩方や上司の皆様に支えて

いただいたおかげであり、心より感謝申し上げます。その中で、気が付けば後輩も増え、今では自分が教える立場になることも多くなりました。かつて自分が先輩方に支えていただいたように、今度は自分が後輩を支え、サポートできる存在でありたいと思っています。そして、後輩にとって安心して頼れる先輩になれるよう、これからも努めてまいります。

知的障害のある方々への支援に携わる中で、楽しいと感じる場面もある一方で、今でも難しさを感じることもあります。同じ関わり方が通用しないことも多く、その都度考えながら対応

してきました。そんな中でも、ご利用者のふとした笑顔や何気ない一言、思いがけない行動に触れると、思わず笑ってしまふこともあり、この仕事の温かさや面白さを感じています。また、日々の支援を通して、自分では気づかなかった視点に出会うことも多く、ご利用者から学ばせていただくことの方が多いと感じています。ご利用者の気持ちに寄り添うことを大切に、一人ひとりに合わせた関わりを心がけていきたいと思っています。

近年は利用者の高齢化という課題もあり、これまでと同じ支援の形だけでは対応が難しくなってきたと感じています。生活面や健康面など、より幅広い視点での関わりが求められており、今後に向けてしっかり取り組んでいきたいと思っています。まだまだ学ぶことばかりですが、これからも初心を忘れず、ご利用者の皆さんと向き合いながら、自分自身も成長していけるよう努めてまいります。

最後になりますが、このような表彰の機会をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

小池更生園便り

祝 開園記念



飾り作り

4月17日に44周年となる開園記念イベントを開催しました。レクリエーションでは、色とりどりの花紙を使って作業班ごとにより紙作りを行い、一人ひとりが思い思いに飾り付けを楽しみ個性あふれる素敵な作品が完成しました。昼食は、ハンバーグ弁当と生姜焼き弁当の2種類からお好きな方を選んでいただき、ご利用者のイラストを盛り込んで作成した素敵なランチチョーマツも花を沿え、笑顔で食事を楽しまれる様子が見られました。ご利用者の皆さんの笑顔があふれる、思い出に残る開園記念日



となりました。今後もより良いイベントを開催できるようにするとともに、ご利用者の皆さんが安心して楽しく過ごせる環境づくりに努めてまいります。

食べ物フェアに参加

5月31日に穴川中央公園で、社会福祉法人オリーブの樹が主催となって開催された、「第13回千葉県障害者施設食べ物フェア」のバザー販売に参加しました。小池更生園からは、初の参加となりました。

当日は天候に恵まれ、青空が見える中、開催となり、バザーでは、小池更生園手作の白味噌とドリップパック入りコーヒールを販売しました。ご利用者も暑さ対策を行いながら販売の声掛けを職員と一緒に、昼食では様々なブースで販売している飲食物を購入し、普段とは違った雰囲気や体験を楽しむことができました。

今後も、職員とご利用者で力を合わせて商品の製造や販売に取り組み、ご利用者には楽しさも味わって頂きながら、充実した活動に繋げていけるように頑張っていく予定です。

災害に備えて



大地震等の自然災害、感染症の蔓延などの不測の事態が発生しても私たちの事業は中断させるわけにはいきませんし、やむを得ず縮小することがあっても可能な限り短い時間で復旧させなければなりません。このような時の方針、体制、手順等をあらかじめ決めておく必要があります。これをBCP（事業継続計画）といいます。小池更生園でもBCPを作成しており、それに則った訓練を行っています。自然災害、火災についての避難訓練は毎月様々な想定で行っています。6月26日の訓練は年に1回の非常食訓練を行いました。

流れとしてテントの設営を行います。テント設営は避難先でご利用者を日差しや雨から少しでも守ることで、非常食を準備するため出来る限り迅速に行う必要があります。始めは手順

を確認しながら1張り立て、2張り目はタイムを計測。一般的な平均は15分程かかるということですが、9分05秒という結果でした。平常時から設営手順をイメージしておくことが大切だと感じました。

次に設営したテントの下では非常食の準備を行います。今回はご利用者と当日出勤職員分で80食です。70分で炊き込みご飯、やきとり、きんぴらごぼうの3品を温め、盛り付けまで行いました。非常食訓練は準備をすることも訓練ですが、いつもと違う食器、いつもと違う食事にご利用者、職員共に慣れておくことで、非常食のローリングストックの意味も大きいです。使い慣れない食器やスプーンでも、ご利用者からは「味が濃くておいしい」「いつもと違うご飯で面白い」との声が聞かれました。訓練を行った6月はすでに暑さが厳しい日もあり、今回ご利用者は非常食ができるまで室内で待機しましたが、実際災害が起きればそうはいきません。慌てず、安全に事業継続ができるよう、毎月の訓練を大切に、真剣に行い、日頃から備えていきたいと思えます。

こいけ障害者 支援センター便り

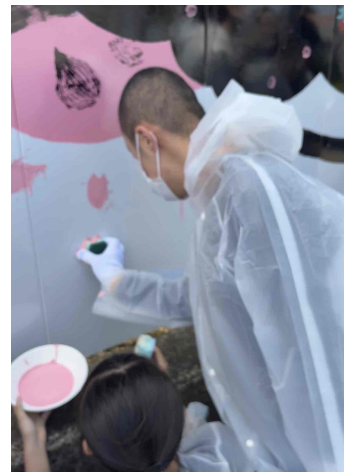
仮囲いアート

5月9日、八千代市役所新庁舎建設現場にて「桜」をテーマにした全長約54メートルの巨大ウォールペイント制作プロジェクトに参加しました。この取り組みは、アートアーティストの方を中心に、地域の中学校美術部員約40名、そして日頃からお世話になっているオーエンス八千代市民ギャラリーのボランティアの皆様とともに、八千代のまちをアートで彩ることを目的としたものです。

今回、オーエンス八千代市民ギャラリー館長様からお声がけいただき、ご利用者6名が参加しました。作業内容の説明を受ける際、緊張した面持ちの方もいらっしやいましたが、担当し



て下さった中学生の皆さんが優しく丁寧にサポートしてくださり、その場の雰囲気は次第に和やかになりました。とても貴重な製作体験を共有することができました。完成したウォールペイントは、桜が春の風に揺れるような、暖かく力強い作品となりました。今回のプロジェクトは、地域とのつながりを深める貴重な機会となりました。完成した作品が、新庁舎の建設現場に彩りを添え、八千代の新たなランドマークとして多くの方の目に触れることを楽しみにしています。

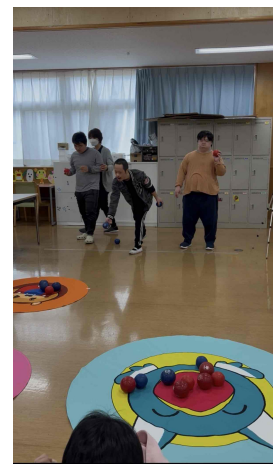


笑顔と歓声が響いた一日

センターでは、地域社会とのつながりを深める取り組みの 일환として、外部との交流イベントを定期的に開催しています。そして、今回は慶應義塾大学大学院の学生たちを招いて「ポッチャ交流会」を実施しました。

ポッチャは年齢や障害の有無に関わらず、誰もが一緒に楽しめるスポーツです。今回はご利用者に合わせてより楽しんでもいただけるよう、学生たちが通常のルールとは異なる「エサやりポッチャ」と「卓上ポッチャ」といった工夫を凝らした2つの種目を用意してくれました。

1つ目はオリジナルの「エサやりポッチャ」です。動物の絵が描かれた敷物を標的に見立てて、その動物の口の部分を目標にボールを投げ入れます。ゲーム感覚で分かりやすく、見事口に入れると大きな拍手や「やったー！」とハイタッチしたりガッツポーズをする姿も見られました。



2つ目は、テーブルの上で行う「卓上ポッチャ」です。こちらは球を転がすだけという非常に簡易的なルールを生かし、誰もが無理なく、気軽に取り組むことができました。

最初は緊張気味だった学生たちも、ゲームが始まるとご利用者と大盛り上がり。「次はあそこを狙おう！」と自然に声を掛け合う姿があちこちで見られました。一球ごとに一喜一憂し、笑顔があふれる温かい時間が流れていました。

障害を越え、このようなスポーツでつながる地域の輪を大切に今後も共に生きる地域社会づくりに貢献していきます。



作山更生園便り

〜開園記念日〜

作山更生園は6月1日に開園27周年を迎えることができました。これまで支えてくださったご家族や地域の皆様に心より感謝申し上げます。

開園記念日には、ご利用者の皆様に感謝の気持ちを込めて、特別な昼食とおやつを提供しました。昼食は普段とは一味違う豪華なお弁当を用意し、彩り豊かな料理が並びました。お弁当のふたを開けた瞬間、「おいしそう」「すごいね」といった声が聞かれ、多くのご利用者の皆さまが笑顔を見せてくださいました。好きなおかずを見つけて喜ぶ様子や、いつも以上に会話を楽しみながら食事をされる姿が見られ、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

午後のおやつには、冷たく飲みやすいスムージーと、ふんわりとしたロールケーキを提供しました。甘い香りに誘われて自然と笑顔がこぼれ、「おいしい」「また食べたい」といった感想も聞かれました。ご利用者の皆さんはゆったりとした時間の中でおやつを楽しみ、特別な一日を満喫されていました。

開園から27年を迎えることができたのは、ご利用者の皆様、ご家族、地域の皆様をはじめ、多くの方々のご理解とご支援のおかげです。これからもご利用者一人ひとりの思いを大切にしながら、安心して笑顔で過ごせる施設づくりに努めてまいります。



こいけホーム便り

今年は鰻でお祝い



7月1日はこいけホーム開所記念日です。毎年「ちょっと豪華な夕食」を食べてお祝いをするのが恒例となっています。7月

と言えば夏、夏は暑い、暑さと戦うにはスタミナが必要、よし、モリモリ食べて皆元気に夏を乗り切ろう！という願いを込めて、今年は鰻重をセレクトしました。香ばしいタレの香り、山椒のピリリとしたアクセントがぐぐっと食欲を盛り上げます。ちなみに添えられた汁物に入っている野菜はこいけホーム産（自家製）なんですよ♪



大きくなあれ

開所記念日にも登場した自家製野菜ですが、こいけ壺番館横の畑で育てられています。種まき、水やり、収穫など、「毎日のお世話が楽しくて仕方ない！野菜かわいいよ。」と生きがいになっているご利用者もいらっしゃいます。今回ご紹介するのは、スイカの種まき。女性も男性も順番に、希望者全員が参加することが出来ました。こんなに小さな種から本当にスイカになるのか！？そんな表情を見せていましたが、皆で水やりや草取りをして、大きくて甘いスイカになるよう願っています。



令和7年度 社会福祉法人心聖会 決算報告

法人だより

資金収支計算書				事業活動計算書				貸借対照表	
当 令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日				自 令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日				令和8年3月31日 現在	
(単位:円)				(単位:円)				(単位:円)	
科目				科目				資産の部	
収入	助成金等収入	1,001,962,000	1,014,171,864	収入	助成金等収入	1,014,171,864		流動資産	547,196,721
	修繕費等収入	95,000	95,000		修繕費等収入	95,000		現金等	382,737,396
	借入金等収入	0	0		借入金等収入	0		事業未収金	159,714,650
	貸付金等収入	639,000	2,041,283		貸付金等収入	2,041,283		未収金	1,021,287
	その他の収入	6,541,000	7,466,193		その他の収入	7,466,193		仕入品	372,714
事業活動収入計				事業活動収入計				原料	91,465
支出	人件費	620,792,000	613,410,275	支出	人件費	613,410,275		仕入品	1,345,986
	事業費	112,734,000	107,236,424		事業費	107,236,424		引当金	1,829,623
	事務費	110,051,000	108,166,165		事務費	108,166,165		1年内に消滅する長期前払費用	83,600
	支払利息	652,000	651,004		支払利息	651,004		固定資産	2,094,678,100
	その他の支出	5,886,000	5,740,090		その他の支出	5,740,090		基本財産	959,684,668
事業活動支出計				事業活動支出計				土地	56,000,000
収入	施設整備等収入	0	0	収入	施設整備等収入	0		建物	902,684,668
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		定期預金	1,000,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		その他の固定資産	1,134,993,432
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		建物	2,962,330
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		構築物	83,062,587
事業活動収入計				事業活動収入計				半導体等	1,816,127
支出	施設整備等支出	99,000	100,000	支出	施設整備等支出	100,000		器具及び備品	22,547,834
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		権利	4,494,450
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		ソフトウェア	455,767
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		建設費等引当金	62,094,055
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		人件費等引当金	161,000,000
事業活動支出計				事業活動支出計				修繕費等引当金	231,000,000
収入	施設整備等収入	0	0	収入	施設整備等収入	0		土地購入金等引当金	515,000,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		未収金	50,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		長期前払費用	311,895
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		その他の固定資産	198,387
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		資産の増加分	2,641,874,821
事業活動収入計				事業活動収入計				負債の部	
支出	施設整備等支出	99,000	100,000	支出	施設整備等支出	100,000		流動負債	69,062,513
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		事業未払金	21,249,869
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		その他の未収金	789,900
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		1年内に消滅する長期前払費用	7,620,000
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		預り金	146,387
事業活動支出計				事業活動支出計				球券等	7,423,512
収入	施設整備等収入	0	0	収入	施設整備等収入	0		固定資産	1,287,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		修繕費	339,845
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		引当金	30,208,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		固定資産	114,308,675
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		修繕費等引当金	44,510,000
事業活動収入計				事業活動収入計				退職給付引当金	62,094,055
支出	施設整備等支出	99,000	100,000	支出	施設整備等支出	100,000		未収金	3,954,620
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		役員退職慰労引当金	3,750,000
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		負債の増加分	183,371,183
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		純資産の部	
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		基本金	33,439,350
事業活動支出計				事業活動支出計				備蓄金等特別積立金	351,231,076
収入	施設整備等収入	0	0	収入	施設整備等収入	0		その他の積立金	96,000,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		人件費等引当金	161,000,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		修繕費等引当金	231,000,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		施設整備等引当金	515,000,000
	施設整備等収入	0	0		施設整備等収入	0		土地購入積立金	50,000,000
事業活動収入計				事業活動収入計				次期繰越経費等調整額	1,116,833,207
支出	施設整備等支出	99,000	100,000	支出	施設整備等支出	100,000		(うち当期活動経費等調整額)	148,834,304
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		純資産の増加分	2,458,503,633
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0		負債及び純資産の増加分	2,641,874,821
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0			
	施設整備等支出	0	0		施設整備等支出	0			

野球部活動報告

野球部主将

稲付 裕貴

5月20日の第9回千葉県福祉職員交流野球大会と、6月17日の第44回全国社会福祉軟式野球大会関東ブロック予選大会の結果をご報告します。

まず県大会では、決勝リーグ進出を懸けて大谷津運動公園野球場で1日2試合を戦いました。柵越え本塁打が飛び出すなど見せ場を作ったものの、結果は1勝1敗で惜しくも敗退となりました。

続く関東ブロック予選大会では、全国大会出場を目指し群馬県の吉井中央公園野球場で2試合に臨みました。しかし、サヨナラ負けを含む2敗を喫し、全国への切符は逃す結果となりました。

今年度は悔しい惜敗が続きましたが、この経験を糧に、来年度こそは最高の形でお答えできるようチーム一丸となって再出発します。



編集後記

夏の訪れ

今年は梅雨の合間から気温が高く、早い夏を迎えたような感じがしますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

4月17日には、「酷暑日」が気象庁の公式用語となり、災害級の夏の始まりを予感させられました。

6月にはワールドカップが開催され、世界中が熱狂の渦に包まれ、日本代表のグループリーグ突破の活躍とトーナメントでのブラジルとの対戦は、私も含めて日本中が感動させられました。

ワールドカップがスペインの優勝で幕を閉じると酷暑日が観測され40℃を超える地域も出てきました。そうした暑さへの対策として園では、ご利用者には日頃から水分補給や日々の検温、エアコンを適切に使用するなど体調管理に努めています。

皆様も水分補給や適切なエアコン使用など十分な熱中症対策を行い、元気に夏を乗り切って頂けたらと思います。